

自己託送事業者における エリア間取引の 間接オークション対応について

平成30年6月15日

地域間連系線及び地内送電系統の利用ルール等に関する検討会事務局

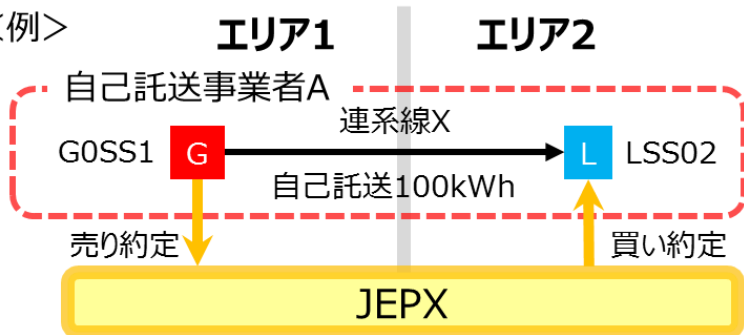
電力広域的運営推進機関
日本卸電力取引所

1. 概要
2. 申請内容
3. 申請期日
4. 特定紐付コードの発行
5. 特定紐付コードの発電販売計画・需要調達計画への記載方法
6. 特定紐付コードの整合性チェックについて

5-2) 自己託送について

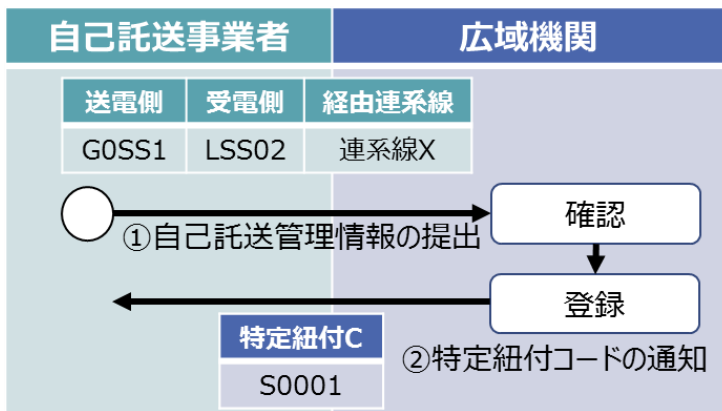
- 自己託送事業者において、エリア間の託送を行う場合は、ここまでの説明と同様に、前日スポット市場および1時間前市場を活用する事になります。
- 加えて、精算のために事前に下記①②の手続きが、計画提出に際しては都度下記③の対応が、必要となります。
- なお自己託送において市場取引の送電側と受電側で約定量に差が生じた場合の精算等の対応方法については、現在資源エネルギー庁にて検討中です。詳細が決定し次第、お知らせいたします。

<例>



- ① 自己託送管理情報の広域機関への事前連絡※
以下情報を広域機関に連絡してください。
 - ・送電側計画提出者コード
 - ・受電側需要BGコード
 - ・経由連系線
- ② 広域機関から、特定紐付コードをご連絡します
- ③ 市場を経由してエリア間の託送を行った場合、当該計画の電源特定コードに②でご連絡した特定紐付コードを記入して計画提出をお願いいたします。
(特定紐付コードに応じた整合性チェックも行います)

※事前連絡いただく内容の詳細と時期については別途お知らせいたします。



③計画へ特定紐付コードの記入（スポットで約定した場合で記載）

送電側G0SS1 翌日) 発電計画				受電側LSS02 翌日) 需調計画			
発電計画		販売計画		需要計画		調達計画	
発電所aaa		取引先	JSPT3		取引先	JSPT3	
		電源特定C	S0001		電源特定C	S0001	
計画値	100	計画値	100	計画値	100	計画値	100

※本処理は精算のための手続きであり、特定の連系線利用を可能とするものではありません

・申請書の記入例

特定紐付コード申請

事業者入力項目

申請区分			
申請区分	新規		
申請内容			
種別	自己託送		
適用開始日	2018/10/01	適用終了日	2099/12/31
送電エリア	06: 関西		
(送電側)計画提出者コード	G9996		
受電エリア	03: 東京		
(受電側)BGコード	LZ993		
代表事業者コード	49993	代表事業者名称	広域エネルギーサービス
郵便番号	135-0061		
住所	東京都江東区豊洲 6-2-15		
連絡者所属	運用部需給運用グループ		
連絡者氏名	広域太郎		
連絡者電話番号	03-6632-0910	連絡者FAX番号	03-3520-8712
連絡者メール	code@occto.co.jp		
経由連系線情報			
連系線申込番号	0320189999A01		
北海道本州間連系設備(北本)	経由しない		
東北東京間連系線(相馬双葉)	経由しない		
東京中部間連系設備(FC)	経由する		
中部関西間連系線(三重東近江)	経由する		
中部北陸間連系設備(南福光BTB)	経由しない		
北陸関西間連系線(越前嶺南)	経由しない		
関西中国間連系線(西播東岡山・山崎智頭)	経由しない		
関西四国間連系設備(阿南紀北)	経由しない		
中国四国間連系線(本四)	経由しない		
中国九州間連系線(関門)	経由しない		

広域機関入力項目

申請内容	
特定紐付コード	

NSC入力項目

- 今回の申請（既存契約）期日：**7月13日**
 - ➔ 間接オークション導入（10月を予定）に際し、本申請に係る取引が発生する事業者さま向けには、上記の申請期日を設定
間接オークション導入後に新規に発生する取引については、適宜受付を行う予定
- 7月13日以降の新規契約については、
 - ➔ **適用開始日の45日前まで**に申請をしてください
- 間接オークション導入直後に適用を開始する特定紐付コードの発行は、**8月下旬頃**を予定しています

4. 特定紐付コードの発電販売計画・需要調達計画への記載方法

- ・年間・月間・週間計画では、特定契約などを元にエリア外取引先コードおよびエリア間の取引量を記載。（他と同様）
特定紐付コードは記載不要
- ・翌日・当日計画では、エリア外取引先は記載せず、取引所の取引先コード・約定量を記載。
該当する取引所取引に特定紐付けコードを記載する（記載に応じて次頁以降の整合性チェックを行う）

【例】自己託送事業者Aがエリア1の送電側A₁からエリア2の受電側A₂へ自己託送する場合の
週間計画と翌日計画の記載例



週間 計画	送電側A ₁ 週間) 発電販売計画				特定紐付Cは 記載不要	受電側A ₂ 週間) 需要調達計画				特定紐付Cは 記載不要	
	発電計画		販売計画			需要計画		調達計画			
	取引先		小売B ₂			取引先		発電A ₁			
	発電所aaa		電源特定C			電源特定C					
最大値	150	最大値	150	最大値	150	最大値	150	最小値	50	最小値	50
最小値	50	最小値	50	最小値	50	最小値	50				

翌日 計画	送電側A ₁ 翌日) 発電販売計画				送電A ₁ スポット約定		受電A ₂ スポット約定		受電側A ₂ 翌日) 需要調達計画			
	発電計画		販売計画		エリア	1	エリア	2	需要計画		調達計画	
	取引先		スポット		売買	売	売買	買	取引先		スポット	
	発電所aaa		電源特定C		約定量		100		電源特定C		S0001	
計画値	100	計画値	100			計画値	100	計画値	100	計画値	100	

5. 特定紐付コードの整合性チェックについて

特定紐付コードの整合性チェックは以下を行います。

9月17日(予定)以降に提出された計画からチェックを行います。

① 特定紐付コードの計画内整合性チェック

チェック対象	以下の全てを満たす取引（翌日発販/販売計画・翌日需調/調達計画）をチェック。 ・BG/計画提出者が特定紐付管理情報に登録されたBG/計画提出者である事 ・取引先が前日スポット市場(JSPT3)あるいは1時間前市場(J1HR3)である事 ・特定紐付コードがタグ「電源特定コード」(JP06373)に記載されていること	
チェック内容	BG/計画提出者と特定紐付コードの組み合わせが妥当かチェック。	
チェック後の動作	チェックOK	計画を受領、そのまま以降のチェック処理を進める。（メール通知は行わない）
	チェックNG	次頁のメールを送付し、計画を受領、そのまま以降のチェック処理を進める。
チェック結果通知タイミング	エラーの都度（チェックNG時のみ）。 ※他の通知と同様	

② 特定紐付コードの計画間整合性チェック

チェック対象	上記①でチェックOKとなった取引をチェック （上記①でチェック対象外となった取引やチェックNGとなった取引は本チェックの対象外）	
チェック内容	当該特定紐付コード毎に、販売・調達取引量の整合をチェック。	
チェック後の動作	チェックOK	そのまま以降のチェック処理を進める。
	チェックNG	計画間不整合として「計画間の不整合通知」メールと不整合通知XMLを送付。
チェック結果通知タイミング	(策定)前日17時頃、(変更)10分毎定期。 ※他の通知と同様	

前ページ記載の「特定紐付コードの計画内整合性チェック」NG時に送付するメールの例

メールタイトル	【広域機関】計画内の確認依頼（翌日発電販売計画_策定）
メール本文	<p>提出いただいた以下の計画は、発電販売計画・需要調達計画の場合は①が、需要抑制計画の場合は②の可能性 があります。 計画をご確認いただき、不適切な記載・不整合がある場合には、計画を修正のうえ再提出してください。</p> <p>①発電販売計画・需要調達計画の場合： 販売・調達計画に不適切な特定紐付（電源特定）コードが記載されています。当該コードの確認をお願いいたしま す。</p> <p>②需要抑制計画の場合：次の1. 2. の抑制計画等の不整合の可能性※があります。 広域機関システムの「計画不整合通知メッセージ」により不整合の可能性のある箇所をご確認いただけます。</p> <p>1. ベースライン(抑制BG計) < 抑制計画値抑制BG計 2. 抑制計画値抑制BG計 > 調達計画</p> <p>※空白（ブランク）で提出された場合、空白はゼロとして不整合の判定を行います。このため、例えば、ベースラインを 100、抑制計画を50で提出いただいた後、ベースラインを空白、抑制計画を70で提出いただくと、不整合と判定しま すが、当機関のデータベースには不整合なく登録されています。</p> <p>・計画名 : 翌日発電販売計画 W6_0150_20190401・・・.xml ・異常箇所 : 特定紐付（電源特定）コード不整合</p>

特定紐付コードの計画内整合性チェック対象判定の詳細例

<チェック対象> 以下の全てを満たす取引（翌日発販/販売計画・翌日需調/調達計画）をチェック。

- (1) BG/計画提出者が特定紐付管理情報に登録されたBG/計画提出者である事
- (2) 取引先が前日スポット市場(JSPT3)あるいは1時間前市場(J1HR3)である事
- (3) 特定紐付コードがタグ「電源特定コード」(JP06373)に記載されていること

※ 「特定紐付管理情報」に記載されていない「計画提出者」・「需要BG」により提出された計画や、市場取引でない取引を記載した販売計画・調達計画や、(発販)調達計画や(需調)販売計画、電源特定コードに記載の無い(Null)販売計画・調達計画については、そもそもチェックされない

例1) <発販> 計画提出者 **G9992** ← チェック対象 (1) : ○

販売先	LC773	JSPT3	JSPT3	G7772	J1HR3	JSPT3	JSPT3	調達先	JSPT3	JSPT3
電源特定C			S0001	S0001	S0002	S0003	S0004	電源特定C		S0001
計画値	100	200	300	400	500	500	500	計画値	50	250
	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	チェック対象外	チェック対象外	チェック対象	チェック対象外	チェック対象	チェック対象	チェック対象	チェック対象外	チェック対象外	チェック対象外
	(2) : ×	(2) : ○	(2) : ○	(2) : ×	(2) : ○	(2) : ○	(2) : ○	(2) : ×	(2) : ×	(2) : ×
	(3) : ×	(3) : ×	(3) : ○	(3) : ○	(3) : ○	(3) : ○	(3) : ○	(3) : ×	(3) : ×	(3) : ○

例2) <需調> 需要BG **LC773** ← チェック対象外 (1) : ×

→ ファイル全体が
チェック対象外

<特定紐付管理情報>

電源特定C	計画提出者	需要BG
S0001	G9992	LA993
S0002	G8882	LB883
S0003	G9992	LC774

特定紐付コードの計画内整合性チェック内容判定の詳細例

<チェック内容> BG/計画提出者と特定紐付コードの組み合わせが妥当かチェック。

前ページで「チェック対象」となった全ての取引計画について、以下の全てを満たす事。

(1)当該取引計画に記載された特定紐付コードが特定紐付管理情報に登録されている事

(2)BG/計画提出者が、当該取引計画に記載された内容と一致する事

例1) <発販>

計画提出者

G9992

← チェック対象

販売先	LC773	JSPT3	JSPT3	G7772	J1HR3	JSPT3	JSPT3
電源特定C			S0001	S0001	S0002	S0003	S0004
計画値	100	200	300	400	500	500	500

チェック
対象外

チェック
対象外

↑
チェック
対象
(1):○
(2):○
→OK

チェック
対象外

↑
チェック
対象
(1):○
(2):×
→NG

↑
チェック
対象
(1):○
(2):○
→OK

↑
チェック
対象
(1):×
(2):×
→NG

調達先	JSPT3	JSPT3
電源特定C		S0001
計画値	50	250

チェック
対象外

チェック
対象外

→ NG検出
ファイル全体が広域機関システムに
登録されず、以降のチェックに進まない

例2) <需調>

需要BG

LC773

← チェック対象外

→ ファイル全体が
チェック対象外
通常の計画間
チェックへ進む
(本チェックは行わない)

調達先	LA993	JSPT3	JSPT3	LB883
電源特定C		XX123	S0002	S0004
計画値	100	200	300	400

<特定紐付管理情報>

電源特定C	計画提出者	需要BG
S0001	G9992	LA993
S0002	G8882	LB883
S0003	G9992	LC774

(参考)特定紐付コードの計画間整合性チェック詳細例

<チェック対象>

- ・特定紐付コードの計画内整合性チェックで「チェックOK」だった取引計画のみを本チェックの対象とする
(「チェック対象外」「チェックNG」だった計画はチェックしない)

<チェック内容>

- ①チェック対象の計画に記載された電源特定コード毎に販売計画・調達計画の計画値を集計
- ②当該集計結果が Σ 発販)販売計画 = Σ 需調)調達計画だった場合は「正常」、そうでない場合は「異常」

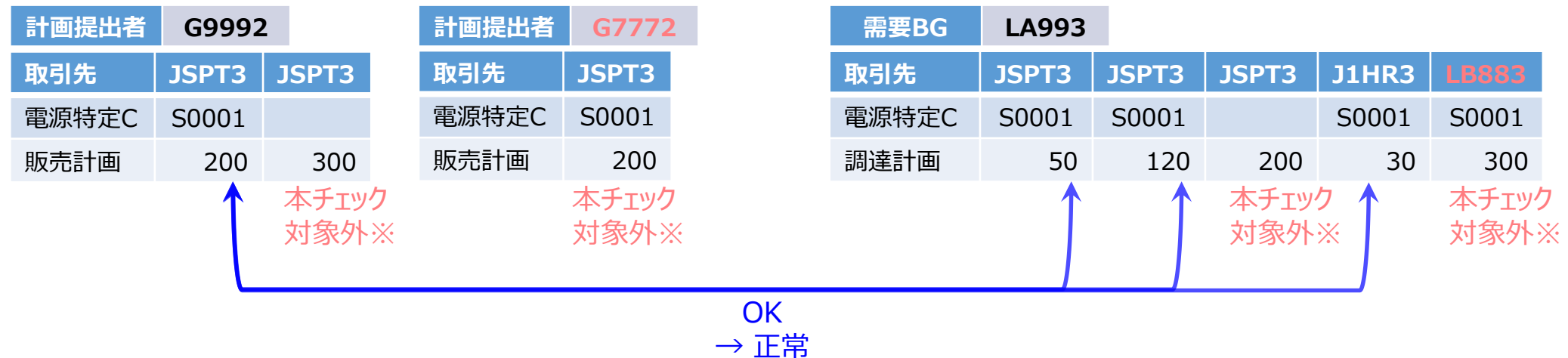
<チェック動作>

- ・「チェックNG」時は計画間不整合として「計画間の不整合通知」メールと不整合通知XMLを送付。
(計画として登録は行う)

例)

<特定紐付管理情報>

電源特定C	計画提出者	需要BG
S0001	G9992	LA993
S0002	G8884	LB883



特定紐付コード・電源特定コードを「キー項目として扱わない」ため、
 計画数・計画記載順番を変更して計画提出した際のシステムへの登録処理は以下ようになる
 (現在の「申込番号」等と同等)

例)



本例のように計画数・計画記載順番を変更する際には十分に注意を願います。
 計画数、計画記載順番は維持したままの計画提出をおすすめいたします。